

音楽が街中にいつもあふれている それが僕の夢

作曲家・演奏家で俳優でもあり、舞台の音楽監督も務められている音楽家の宇崎竜童さんからお話をうかがいます。宇崎さんは、大変お忙しい中、「お茶の水JAZZ祭」などの地域活動の総合プロデューサーなどもされています。

宇崎さんと御茶ノ水

米倉 私たち千代田観光まちづくり実行委員会が、「さくら祭り公式ガイドMAP」二十万部の発行や、無料シャトルバス「さくら祭り号」の運行を始めたのが二〇〇六年のことで、同じ時期に、宇崎さんも「お茶の水JAZZ祭」や「お茶の水アートピクニック」などの、御茶ノ水や神田神保町周辺での音楽イベントのプロデューサーや出演を始められたようですが、どんなきっかけで始められたのでしょうか？

宇崎 僕は、明大(明治大学)でしたから、御茶ノ水で学生時代を過ごしたのです。学生時代って言っても、学校の勉強は全くしなくて、ジャズばかり「勉強」していたね。法学部卒業じゃなくて、軽音楽クラブ卒業っていうくらい音楽漬けの大学生活で。それなのに、卒業してから三十年間、大学のことなんてこれっぽちも思い出さなかったんですよ。**米倉** お忙しくって活躍でしたからねえ。**宇崎** ある時、大学の先輩から、『軽音楽クラブのOB会の会長になってほしい』と言われたんですよ。その時かな、ようやく三十年ぶりに学生時代を思い返してみたのは。

米倉 どんな学生生活でしたか？

宇崎 中学と高校時代は明大中野(明治大学中野中学・高校)の brass band 部で、徹底的に先輩から音楽の基礎

SAKURA 対談

宇崎竜童

米倉伸三

来街者・出演者・スタッフ、 皆が楽しいさくら祭りにしたい

米倉伸三
よねくらしんぞう
千代田観光まちづくり実行委員会
実行委員長

1946年 東京・神保町生まれ。株式会社ミレー 代表取締役。地域の商工業団体と連携し、千代田区の活性化と魅力発信に務める。

宇崎竜童
うざきりゅうどう 音楽家
1946年 京都府生まれ。1973年に
ダウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成し
デビュー。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコ
スカ」「スモーキン'ブギ」など数々のヒッ
ト曲を生み出す。現在も、ライブ活動、
俳優、作曲家など、幅広く活動中。

を叩き込まれてね、大学生になったら、今度はその先輩たちに軽音楽クラブでジャズをやろうと誘われて、問答無用でジャズのお勉強ですよ。何しろ、明大紛争があつた時代でしたから、学校に登校しても授業がない。登校しても教室でラップを吹いていたりして、音楽漬けの学生生活でしたよ。

米倉 それは貴重な時間ですよねえ。

宇崎 そうやって、演奏も作曲も、学生時代に先輩達からみっちり仕込まれたおかげで、今の自分があるんじゃないかなあと思つてね。思い返してみると、あの時代に僕に良い時間をくれた大学や御茶ノ水に、何も恩返しをしていないなあ。三十年たつて、ようやくそう思えるようになりました。

カルチャーと街

米倉 それで軽音楽クラブのOB会の会長になられたわけですね。

宇崎 OB会の会長になったら、なにかなしくちゃならない、何をしたら面白い、実行委員長と理事長が来日されたので、お話をうかがいましたら、あちらの桜祭りは7月近くも開催されていて、音楽演奏がそこそこ行われていて、フード屋台が出店されて、たとえ桜の開花が遅れても、とにかく楽しい桜祭りなのだそうです。

宇崎 野外の演奏つてやっぱり良いですよ。僕も、御茶ノ水界限で、街の演奏会をいくつか開催しましたけれど、室内とかホールで演奏会を開催するだけじゃやっぱり、クローズドな世界なのですよ。目標としては、野外で、街角で、音楽が流れているつていうね、そうゆう街にするのが夢なのです。デキシラードジャズがこっちで流れ、あつちでハワイアンが流れ、あちこちでいろいろな音楽が流れている街、お祭り、音楽ストリート、そうゆうのができたらいいな。音楽が街にあふれてるつてそうゆうことじゃないかな。

米倉 例えば、音楽があふれるストーリーの実現のために、さくら祭りの開催に



【御茶ノ水キャンパスライブWAI!HAIHA!】で演奏される宇崎さん(2018年10月)

かなと考えて。御茶ノ水、神田、神保町つて言うのは、古書や新書の街で、楽器店が立ち並ぶ音楽の街で、さらにスポーツ用品店がある、カルチャーの街ですよ。こんな狭いエリアに、こんなにギョツとカルチャーを詰め込んだような街は、世界中を見渡してもあまりないんじゃないかなと思つて。

米倉 カルチャー関連の商店と大学が、これだけ集まっている街はないでしょうねえ。

宇崎 カルチャーの街であることを表現するとしたら、何がいいかなと考えていて、街全体に、常に音楽が流れてるつてくれないかなと思つて。合わせて野外ステージや歩行者天国を用意したとしてすよ、果たして演奏家が、ストリートを埋め尽くすほど集まるものなのでしょうか？

宇崎 ああ、それはおそらく大丈夫です。例えば、仙台の定禅寺ストリートジャズフェスティバルとか、新宿のジャズ祭、横浜ジャズプロムナード、なんかの開催状況を見ても、呼びかければ全国からアマチュアもセミプロもいっぱい集まってくれますよ。

米倉 そうなのですかーじゃあ、宇崎さんを中心に、そういったジャズフェスと

ていうコンセプトはどうだろうかと。すぐにじゃなくて、十年とか二十年後に、音楽があふれる街になっていたらいいなと思つてね。スピーカーからの音じゃなくて、生演奏があちこちから聞こえてくるような街にしたいと。

米倉 それは素晴らしいですねえ。

宇崎 それで、商店街や企業や地域の方達にお集まりいただいて、「街中に音楽があふれる街にしたい」と話をしたのですよ。賛成してくれる人もいたし、あまり興味をしめしてくれない人もいて、賛否両論、半々くらいだったかな。そこから、賛成してくれた人達と話を始めて、「お茶の水JAZZ祭」をスタートしたのです。商店街や地域の人たちの協力で、駅前で演奏会ができたり、新書フェスやアートピクニックと連携して、アマチュアバンドや明大の学生が演奏をしたりと、徐々に活動を広げてこれたのです。

さくら祭りと音楽

米倉 先日、ワシントンDCの桜祭りのか、音楽フェスとかをやりましょうよ！

宇崎 あ、でも、僕、肩書が「プロデューサー」とかは、偉そうでいやだなあ、「言い出しっぺ」ということ(笑)。私達はイベントのサポートをするのがお役目ですから、言い出しっぺのアイデアを聞かせていただけるとありがたいです。例えば、企業の持っている公開空地がいくつかあるの、そういう場所を活用して、音楽フェスができるって面白いですよ。公開空地を持っている企業は、地域に貢献したいと思つているのです。

宇崎 そうなんです、公開空地なら始めやすいかもしれませんね。

米倉 少しずつ動けばいいですよ。今日は、ありがとございました。

宇崎 さくら祭りに音楽が加わつてもっと盛り上がり方がいいですね。

撮影協力…紫紺館 椿山荘
協 力…ちよだ音楽連合会
写真協力…千代田区広報広聴課
キッチンカローリ